

植物分類学関連学会の共同名簿について

植物分類学関連学会連絡会では異なる学会に所属する研究者間のより緊密な情報交換および連絡をおこなうため、希望学会による会員の共同名簿を作成することになりました。日本藻類学会としては本号の学会録事の中にも記されているように、希望者を募り、その会員を植物分類学関連学会の共同名簿に掲載することになりました。ついでには共同名簿に掲載を希望される会員の皆様は、下記様式の掲載情報をe-mailもしくは葉書にて学会事務局宛にお寄せください。締切は8月15日です。植物分類学関連学会の共同名簿に掲載を希望します。

氏名：藻類 太郎

ローマ字：Sorui Taro

称号：Mr. Dr. (片方の記入だけでも良い)

生年月日：1965/04/05

所属：藻類大学海藻学部プランクトン研究センター

所属住所：184 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

TEL:0423-29-7524

FAX:0423-29-7524

e-mail:sorui@u-sorui.ac.jp

所属学会：藻類, (分類, 植物・・・など短い名称で)

キーワード：緑藻, カサノリ, 藍藻

(研究・関心分野を3つほど)

= 名簿掲載情報の送り先 =

E-mail: mayama@u-gakugei.ac.jp

葉書：184 小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学生物学教室内 日本藻類学会

表紙写真



初めてクロキヅタの標本を見たときには、その葉状部の大きさ・迫力・美しさに感動したものである。この海藻の愛媛県における”近況”と、その保護に尽力された野村義広氏に関する紹介記事をお二人の会員の方が寄稿してくださった。ということで本号の表紙はこの美しい海藻に飾ってもらうことにした。写真は北大大学院理学研究科の標本室に保管されているもので、記事の筆者である二宮早由子氏が寄贈されたものである。

ところでお二人の著者の方はそれぞれクロキヅタ・クロキヅタと、異なった表記を用いられている。ここでは、著者の用法を尊重し、統一はしなかった。(T.H)

賛助会員

北海道栽培漁業振興公社（060 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道第二水産ビル4階）
阿寒観光汽船 株式会社（085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔）
株式会社 シロク商会（260 千葉市春日1-12-9-103）
全国海苔貝類漁業協同組合連合会（108 東京都港区高輪2-16-5）
有限会社 浜野顕微鏡（113 東京都文京区本郷5-25-18）
株式会社ヤクルト本社研究所（189 東京都国立市谷保1769）
田崎真珠 株式会社 田崎海洋生物研究所（779-23 徳島県海部郡日和佐町外ノ牟井）
神協産業 株式会社（742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1）
理研食品 株式会社（985 宮城県多賀城市宮内2丁目5番60号）
株式会社 白寿生科学研究所（351 朝霞市栄町3-3-7）
三洋テクノマリン株式会社（103 東京都中央区日本橋堀留町1丁目3-17）
マイクロアルジェコーポレーション（MAC）（104 東京都中央区銀座2-6-5）

新刊紹介（追加）

SEAWEED CULTIVATION AND MARINE RANCHING

Masao Ohno and Alan T. Critchley (eds) JICA（国際協力事業団）発行 151pp. 1997（再版）

本書は、1993年にJICAの水産分野の研修員のテキストとして出版された。内容は、海苔、コンブ、ワカメ、ヒトエグサ、モズクなど日本の海藻養殖とキリンサイ、オゴノリなど発展途上国での海藻養殖を、多くのカラー写真を入れて、生物学的視点と技術的視点の両面から説明している。また藻場や海草の造成法についても記述されている。本書は、市販された本ではないが、国内国外に実費で広く配布され、高い評価を得た。今なお、請求がJICAに届くが在庫がなくなり、再版の予算がつき出版された。再版は、ミズプリントなどと紙質・装丁を変えたので、初版より読みやすい。藻類研究者には再版を保存することを勧めたい。

JICAの許可を得て別予算で、増刷をしたので、希望者は、編者の大野正夫宛に、FAXなどで請求を戴ければ、実費（2,500円送料込み）で送付します。

FAX:0888-56-0425, Email:mohno@cc.kochi-u.ac.jp

（大野正夫 高知大学海洋生物教育研究センター）

日本藻類学会（入会申込・住所変更届）（○で囲んで下さい）

（コピーしてお使い下さい）

199 年度より入会 19 年 月 日 申込み

氏名 _____

★ Name _____
(Family name) (Given name)

所属機関名 _____

★ Institution _____

住所 〒 _____

★ Institutional Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

自宅住所 〒 _____

★ Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

★の項目は英語またはローマ字で必ずご記入ください。英文誌の送付に必要です。

以下の欄にチェックして下さい

会員の種類： 普通会员 7,000円 学生会員 5,000円（学生会員の場合、指導教官の署名が必要です）

指導教官の署名： _____

会費納入方法： 同封 郵便振替（できるだけ郵便振替をご利用下さい）

会誌の送り先 所属機関（勤務先） 自宅

入会申込書・住所変更届 送付先：〒690 島根県松江市西川津町 1060

島根大学教育学部生物

大谷修司 TEL 0852-32-6306（FAX 兼用）

e-mail: ohtanish@edu.shimane-u.ac.jp

会費払込先：郵便振替 口座番号 01320-4-48748 加入者名：日本藻類学会

学会事務局 使用欄	受付	名簿	発送リスト	入金確認	学会録事
--------------	----	----	-------	------	------

多彩な執筆陣による多角的な構成！
生態から利用までを網羅した、初の海藻読本！

緑 水産学叢書
第2弾！

21世紀の海藻資源

—生態機構と利用の可能性—

大野正夫 編著

●A 5判 280頁 ●定価：本体3,689円(税別)

「豊かな海」の立役者であるばかりでなく、次世代の素材として、いま産業界の最も熱い注目を集める海藻資源。健康、環境への関心の高まる中、「海藻について的一般書を」との声に応え、遂に初の海藻読本が登場！

生態、環境、健康、化学、工学、医療等の研究者が最新研究成果を分かりやすく解説。今まであまり光の当たらなかった多方面にわたる海藻の利用法を探る。海藻生産者、漁場造成・水圏環境保全関係者、応用化学・食品メーカー必読の書！



内容

藻場(寺脇利信)／流れ藻と寄り藻(新井章吾)／磯焼け(藤田大介)／国際化する海藻資源(大野正夫)／海藻と健康・栄養(辻 啓介)／伝統的食品の寒天と新しい素材のカラギナン(平瀬 進・大野正夫)／海藻パルプとアルギン酸繊維の“紙”(小林良生)／カンキツ類の生産と海藻資源(白石雅也)／飼料に利用される海藻(中川平介)／磯の香りと性フェロモン(梶原忠彦)／海藻から抽出されるレクチン—細胞を見分けるたんぱく質—(堀 貫治)／海藻から抗酸化性物質の生産(浪岡日左雄・松家伸吾)／海藻から抗菌性成分の探索(越智雅光)／海藻からの抗癌活性物質(山本一郎・丸山弘子)

図鑑 海藻の生態と藻礁

徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗 編

●B 5判 198頁 ●定価：本体14,369円(税別)

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

—A Photographic Guide—
Seaweeds of Japan

●定価：本体14,563円(税別)

英文版も
完成！

海藻資源養殖学

徳田 廣・大野正夫・小河久朗 編

●B 5判 354頁 ●定価：本体5,505円(税別)

海藻の資源や養殖から、藻場造成、利用法、海外での養殖等に至るまで、実に幅広い観点から初めて総括的に海藻を論じた、研究者・学生・養殖業者待望の書！！

内容

地球生態系と海藻／海藻の生育環境／海藻の利用／世界の海藻資源と生産量／現在の海藻養殖／藻場造成／海外の海藻養殖の現状／海藻養殖の将来と展望／むすび

■消費税は別途加算されます。

緑書房

〒171 東京都豊島区池袋2-14-4 池袋西口スカイビル8F
TEL 03(3590)4441(販売部) FAX 03(3590)4446

陸上植物の起源

—緑藻から緑色植物へ—

グラールハム 著

渡邊 信, 堀 輝三 共訳

A5判・376頁・本体価格4800円(税別)

1. 陸上植物の起源—はじめに— 2. シルル紀前期とオルドビス紀後期の環境 3. 陸上植物の初期進化へのアプローチ 4. シャジクモ藻綱 5. シャジクモ類の形態・生態・生理 6. シャジクモ藻綱と陸上植物のギャップ 7. 植物形態の進化: 細胞壁・細胞骨格・細胞質分裂・細胞間応答・組織形成 8. 植物の有性生殖の進化 9. 植物のシグナル伝達系・植物ホルモン・光形態形成・二次代謝の起源 10. 陸上植物の起源—まとめ—

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5判・448頁(185種) 本体価格8000円(税別)

I(狭義の)緑藻綱 IIアオサ藻綱 III車軸藻綱 IV所属網不明群 Vブラシノ藻綱

第2巻 褐藻・紅藻類 B5判・424頁(171種) 本体価格8000円(税別)

I 褐藻綱 II 紅藻綱

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5判・400頁(146種) 本体価格7000円(税別)

I 渦鞭毛藻 II 黄金色藻綱 IIIシヌラ藻綱 IVハプト藻綱 Vクリプト藻綱 VIラフィド藻綱 VII真眼点藻綱 VIIIミドリムシ藻綱 IXクロララクニオン藻綱 X黄緑色藻綱 XI珪藻綱

日本の赤潮生物

—写真と解説—

福代・高野・千原・松岡 共編

B5判・430頁・本体価格13000円(税別)

収録種は、藍藻8種、クリプト藻2種、渦鞭毛藻7種、珪藻85種、ラフィド藻9種、黄金色藻6種、ハプト藻4種、ユーグレナ藻8種、ブラシノ藻5種、緑藻1種、原生動物2種の計200種。まず写真・図があり、続いて写真説明、和文記載、英文記載、文献が続き、1種見開き2頁にまとめる。写真は、それぞれの研究者が研究のために整理して秘蔵していたもの、および本書用として新たに制作したもの等から成る。和文記載は以下の特徴を順に記す。1.細胞の性状、外形と大きさ 2.細胞構造 3.生殖法、生活史 4.生態と分布 5.類似種との比較、分類学的位置、学名の変遷 6.その他

日本海藻誌

岡村金太郎 著

B5判・1000頁・本体価格30000円(税別)

日本の海藻学の先駆者が、ライフワークとして集大成。海藻学の全般が理解できると同時に、精密克明な解説と実地調査による体系的著述により、さらに発展への糸口も与える不朽の名著。

植物組織学

猪野俊平 著

B5判・727頁・本体価格18000円(税別)

植物組織学の定義・内容・発達史から研究方法、組織細胞、体制と組織へと詳述した植物組織学の決定版。詳細な本文と克明に描写した700余に上る挿図、82頁にわたる学術名・人名・学名・和名の4種の索引を備える。

近刊のお知らせ

原生生物の世界

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

丸山 晃 著

藻類多様性の生物学

千原高雄 編著

淡水藻類写真集 18巻

山岸高旺・秋山 優 編集

重版出来 日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5判・960頁・本体価格38000円(税別)



内田老鶴圃

〒112 東京都文京区大塚3-34-3

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750 円、非会員 3,000 円、30 巻号 (創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き) のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円、欠号 1-2 巻、4 巻 1,3 号、5 巻 1,2 号、6-9 巻全号。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格 会員 1,500 円、非会員 2,000 円、11-20 巻、会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引、1-30 巻、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補. 1977. A5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載、価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編. 1972. B5 版. xiv+280 頁, 6 図版. 昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

1997 年 7 月 5 日印刷

1997 年 7 月 10 日発行

© 1997 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by Hokudai Insatsu

編集兼発行者

堀 口 健 雄

〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学大学院理学研究科
Tel. 011-706-2738
Fax. 011-746-1512
email. horig@bio.hokudai.ac.jp

印刷所

北 大 印 刷

〒 060 札幌市北区北 8 条西 7 丁目
Tel. 011-747-8886
Fax. 011-747-8807

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒 184 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
東京学芸大学生物学教室内
Tel. 0423-29-7524 (Fax 兼用)

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第45巻 第2号 1997年7月10日

目次

日本藻類学会第22回大会(下田)案内	
高野敬志・日野修次: 過栄養湖茨戸湖(北海道)の浮遊性藻類の遷移に 対する温度の影響	89
山本民次・樽谷賢治: 広島湾産有毒渦鞭毛藻 <i>Alexandrium tamarense</i> の増殖に及ぼす 水温, 塩分及び光強度の影響	95
研究技術紹介 藻類の光合成研究法シリーズ5	103
鈴木健策: 酵素活性測定法 — 光合成 CO ₂ 固定およびグリコール酸経路関連酵素 —	
研究技術紹介	
平田徹・青木優和・倉島彰・植田一二三・土屋泰孝・佐藤寿彦・横濱康繼: 海中造林のための接着剤を用いたカジメ藻体の移植	111
藻類採集地案内	
川口栄男・上ノ菌雅子: 福岡周辺海藻採集地案内	117
鶴岡英作: 愛媛県のクロキヅタ	121
二宮早由子: 野村義広氏により保存されたクロキヅタ	123
藤田大介: ナホトカ号の事故で流出した重油の沿岸漂着と海藻 II — 石川県でのその後 —	125
藤田大介: 水産試験場研究報告の藻類関係論文リスト (1991~1995)	126
博物館と藻類	
北山太樹: 新手の微細藻類展示—滋賀県立琵琶湖博物館の場合—	131
中野武登: 日本藻類学会第21回大会(東広島)を振り返って	133
谷 昌也: 日本藻類学会第21回大会宮島エクスカージョン参加記	135
寺田竜太: 第7回有用藻類の分類に関する国際研究会に参加して	137
金井塚恭裕: 第3回藻類学春の学校参加記(1997年3月29日~3月31日)	139
英文誌 Phycological Research 45巻1号掲載論文和文要旨	141
学会・シンポジウム情報	143
書評・新刊紹介	
河地正伸: 海の働きと海洋汚染(原島省・切刀正行共著)	146
学会録事	147